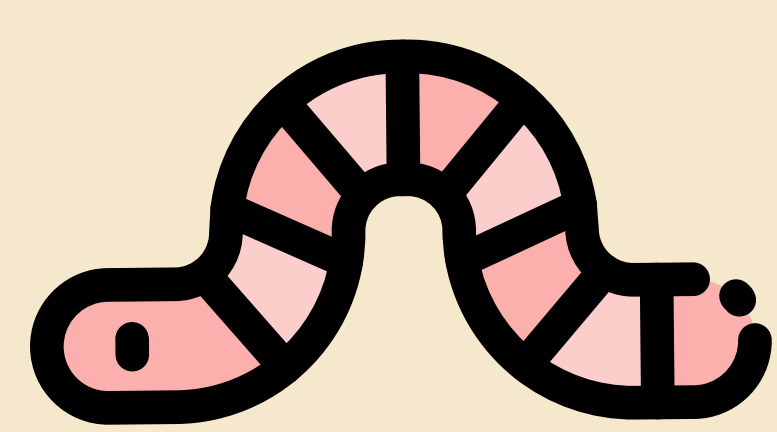
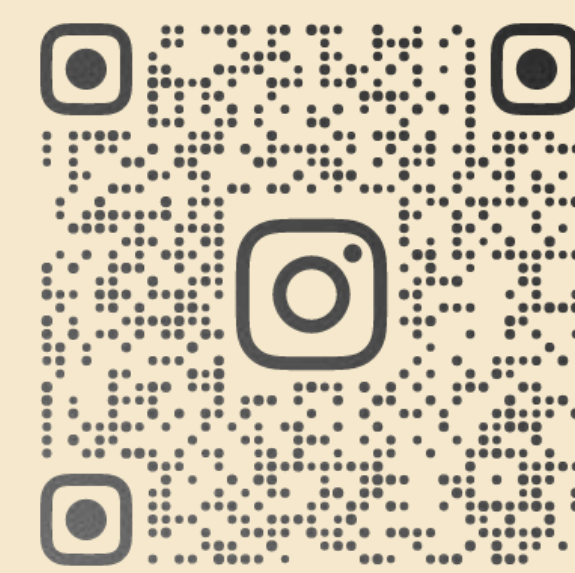
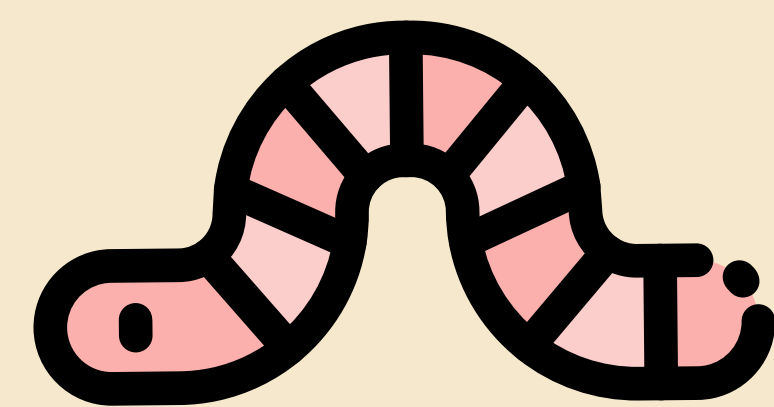




ミミズでGO!



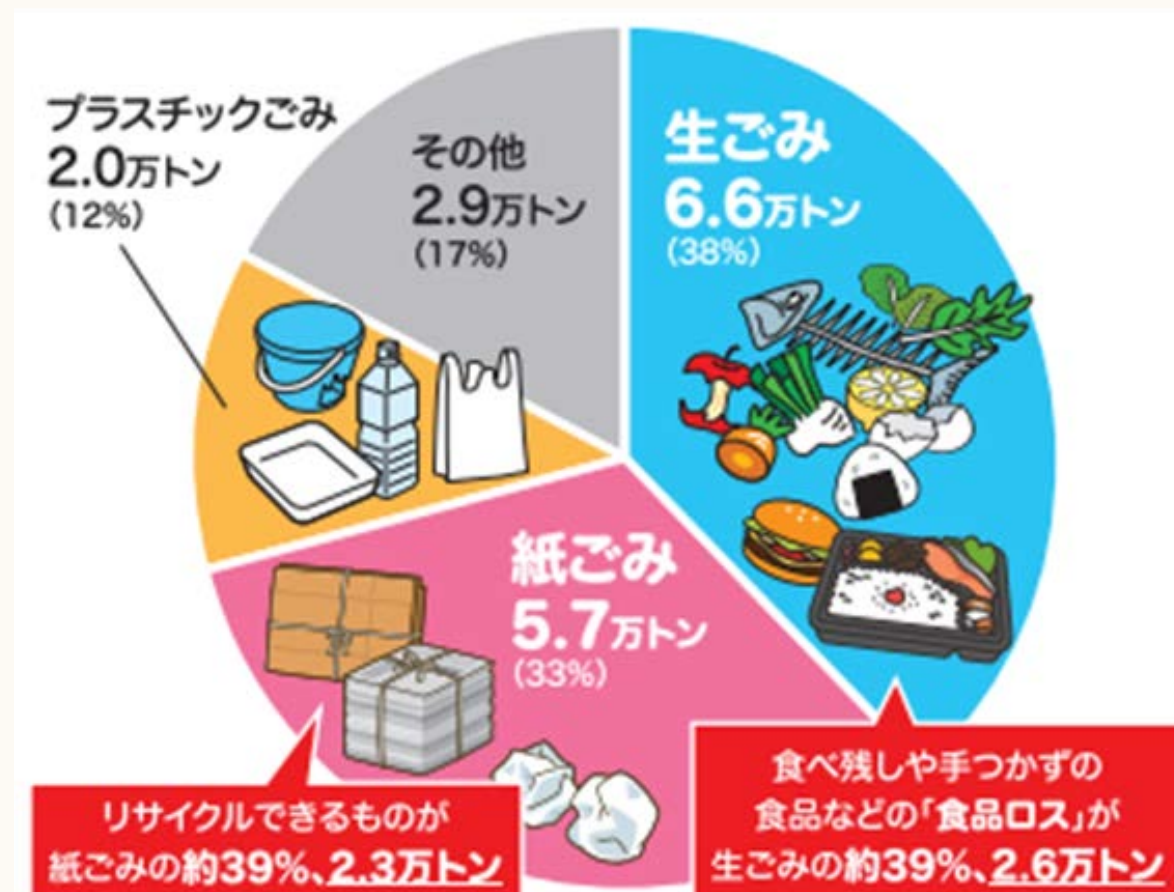
京都御池中学校 2年

森田 蓮奈

@mimizu_de_go

生ゴミを減らし、自然の力を暮らしに取り入れるミミズコンポスト。その魅力を伝え、都市の中でも環境と調和した生活ができることを広めていきたい。

家庭から出る燃やすごみの内訳（令和4年度）



←京都市から出る家庭ゴミの中で、生ゴミの割合が一番高い。

生ゴミは紙ゴミの3倍以上の燃えにくさで、焼却するときに多大なエネルギーを消費してしまう。生ゴミを効率よく処理できるエコな方法が必要！！

そこで思いついたのが・・・コンポスト！

ミミズコンポスト・・・処理が速い、虫が湧きにくい、臭いが少ない
微生物コンポスト・・・処理普通、虫がわきやすい、臭いは管理次第

*電動式コンポスト・・・処理が速い、虫はわからない、臭いはしない

*機械が必要。数万～数十万円する

→費用があまりかからず、虫や臭いがあまりしないのは・・・

ミミズコンポスト！



↑我が家のミミズコンポスト

ミミズが生ごみを食べて分解し、栄養豊富なフンを排出する。フンは良質な堆肥となり、植物の成長を助ける。

①生ごみ投入 → ②ミミズが分解 → ③フンが堆肥化 → ④植物に活用

ミミズが好むもの

- 野菜くず、果物の皮（皮や芯など）
- コーヒーかす、お茶の葉（無添加のものが良い）
- ダンボール・新聞紙（細かくちぎって湿らせると分解を助ける）
- 卵の殻（砕いて入れるとカルシウム補給になり、酸性を中和する）



同心児童館にミミズコンポストを設置。子供達とミミズがふれ合う時間を定期的に設けている。



ミミズコンポストに関するクイズも実施。

生ゴミの投入（餌やり）は小学校低学年にかなりの人気。
生ゴミは、地域の八百屋さんから出る野菜くずをもらっている。



ミミズコンポストでできた糞土を使って野菜を栽培中。



京都大学のトレードフェアに出店。ミミズ糞土などを販売して、ほぼ完売！質問に来てくれた方もたくさんいた！



牛乳パックや植木鉢でもできるコンポストのワークショップを開催。

1.子供たちの意識への影響

- ミミズや土と定期的に触れ合うことで都市部ではあまり感じることをできない自然とのつながりを実感できる。
- ミミズコンポストについて知ること、将来コンポストを初めてくれるかも、
- 「生ゴミが土になり、その土から野菜ができる」というサイクルを実体験することができる。

2.大人への影響

- 開催したワークショップをきっかけに、コンポストを初めてくださった人たちがいた。

コミュニティにミミズコンポストを設置して、地域で出たゴミはその地域で処理できるようにしたい。

